

島岡 まな

高等司法研究科・教授

【研究】

日本学術振興会科学研究費補助金の基盤研究(C)「ジェンダー平等的刑法改正に関する研究(平成26～28年度)」の実施2年目に当たり、フランスで昨年に引き続き、海外調査を行った。日本学術会議の連携会員となり、法学委員会のLGBT問題分科会でフランスの差別罪に関する報告を行った。神奈川大学とのDVIに関する共同研究成果を英文の共著にまとめた。9月にパリで行われた日仏共同研究集会に参加した。共著の参考書として、『実践刑法演習』(法律文化社)が出版された。

【教育】

平成27年度前期は、「刑事法総合演習」(3年次配当)を、松田教授と合同で刑法、刑事訴訟法の融合問題について学生に発表させるゼミ形式で行った。3年生の選択科目「刑法応用2」では、2年次の刑法応用1で取り上げられなかった事例問題の検討を内容とする授業を行った。学生の希望により、毎回4～5名の答案に添削を行いCLEIにUPLした。

後期は、刑法応用(2年次配当)EFクラスを1人で担当した。合計85名の学生に対し、わかりやすい授業を模索し、参考答案も毎回8名ずつCLEIにUPLしたが、試験結果は思わしくなく、法科大学院開始以来最高となる15名を不合格とせざるを得なかった。

木曜オフィスアワーの時間は、刑法応用1の小テストに使用したが、授業外で答案を書いてきた者については個別指導を行った。

【管理運営】

平成27年度は、高等司法研究科入試委員として、入試委員長をサポートしつつ関連業務を行った。全学委員会である生命機能研究科倫理委員会、国際交流室員として出席した。

【社会貢献】

国立循環器病センター倫理委員会委員、大阪弁護士会懲戒委員として、毎月1回の会議に出席。警察庁主催「警察法政策に関する関西研究会」にも何回か出席。ジェンダー法学会理事、日本学術会議連携委員(法学)として報告等を行った。